

第124回

武蔵野音楽大学 ピアノ新人会



MOE SHINBASHI
**新
栞
萌**

ブラームス◆8つの小品 作品76より
1, 2, 3, 8

J.Brahms : Klavierstücke Op.76-1,2,3,8

シューマン◆ピアノ・ソナタ第1番
嬰へ短調 作品11

R.Schumann : Klaviersonate Nr.1 fis-moll Op.11

新栞萌

武蔵野音楽大学を経て同大学院修了(ヴァルトゥオーゾコース)。第30回日本ピアノ教育連盟ピアノオーディションE部門関東地区優秀賞、全国大会出場。選抜学生によるコンサート、卒業演奏会、サントリーホール・デビューコンサート等に出演。卒業後、はもに一音楽教室主催によるピアノソロサイトをを行う。ムジカルタ音楽祭(フランス)、サンクトゴア・インターナショナル・ミュージックアカデミー主催マスタークラス(ドイツ)等に参加、修了コンサートに出演。これまでにピアノを塚越淑子、エレーナ・アシュケナーズの各氏に、伴奏法を小池ちとせ氏に師事。

現在、武蔵野音楽大学附属江古田音楽教室講師。ピアノ新人会会員。

リスト◆巡礼の年報 第2年「イタリア」より
ペトラルカのソネット第104番

F.Liszt : Année de pèlerinage Deuxième année :
Italie - Sonetto 104 del Petrarca

◆ピアノ・ソナタ 短調

Sonate für Klavier h-moll

堀内 亮

武蔵野音楽大学を経て同大学院修了。その後、イタリア ローマのサンタチェチーリア音楽院に留学。多くの国際コンクールで第1位入賞を果たし、ヨーロッパに於ける演奏活動の場を広げた。ピアノ・ソリストとしてイタリア・フランスを中心に音楽祭に招かれての演奏活動を展開し好評を博す一方で、アブルツォ交響楽団及ヤカンパーニヤ交響楽団とピアノ協奏曲の共演も果たしている。これまでに坂井玲子、M.モウケ、B.フォンエ、A.ナセトキン、L.ナウモフ、G.ムニエ、B.ベルマン、F.ニコロージ、B.リグット、A.チッコリーニ、K.ゲキチの各氏に師事。現在、武蔵野音楽大学及び同大学附属江古田音楽教室講師。ピアノ新人会会員。

RYO HORURUCHI
**堀
内
亮**



2019年 10月17日(木) 19:00 開演
(18:30 開場)

武蔵野音楽大学 江古田キャンパス **ブラームスホール**

(西武池袋線「江古田駅」北口・西武有楽町線「新桜台駅」4番出口 徒歩4分)

全自由席 / 3,000円 前売: チケットぴあ 0570-02-9999 pia.jp/t (Pコード159-058)

主催: 武蔵野音楽大学ピアノ新人会

マネジメント: **Shin*En**, 新演 03-6222-9513 www.shin-en.jp

ピアノ新人会は、武蔵野音楽大学において故レオニード・コハンスキー教授の薫陶を受け、母校に奉職した数名のピアニストが、お互いに切磋琢磨して音楽芸術の一層の研鑽を目指すために、1959年に結成・発足された。その後、同大学及び専攻科・大学院修了者のうち、特に会員の推挙を受けた有志を逐次新会員として迎え、現在に至る。「常に新人の時の心構えを忘れずに、いつまでも清新な情熱を燃やして音楽の道を歩み続けたい」という、会の名称にこめられた趣意に則り、内外の著名な諸教授を迎える研究会と、会員による「ジョイントリサイタル」及び「室内楽の夕べ」を開催。また1980年以来、記念演奏会として6回の「ピアノ協奏曲の夕べ」を開催。現在約100名の会員が在籍、会長は福井直昭。